



## 「祈りを教えてください」

日本でいつも祈り支えてくださっている皆さま、日頃のご支援を心から感謝申し上げます。日本は梅雨入りが遅くなったようで、いつもとは違う初夏を迎えておられるかもしれません、いかがお過ごしでしょうか。

ここブラジリアは乾期に入り、風邪やデング熱がまだ流行っています。5月のある夜中には、長男が意識を失うほど衰弱し、病院に搬送し、投薬と点滴後、無事に帰宅。幸い数日で回復しました。A型インフルエンザでした。

その数日後、日本の母教会で長年お世話になった「祈りのおばあちゃん」ともいうべき姉妹が99歳で天に召されました。ブラジル宣教の写真を飾っていつも祈ってくださっていました。

また、訪問を続けている日系一世の2名の方が病に倒れ入院されました。さらには、以前ブラジリア教会に出席していたジョバンネ姉妹とそのご両親が自動車事故で亡くなるという惨事が起きました。同乗していた二人の息子さんは助かり、お父さんと子どもだけが残されました。

身近な人の病いや事故が続く、この数ヶ月はただ天を仰ぐような日々でしたが、主がすべてを支え、すべてのことを益と変えてくださると信じて祈り続けています。

弟子たちは、主イエスの祈る姿を見て「私たちにも祈りを教えてください」と懇願しました。私自身、自らの祈りの乏しさを痛感するなかで、主は祈りの原点をもう一度示してくださっています（ルカ11章）。

「父よ。御名が聖なるものとされますように。

御国が来ますように。

私たちの日ごとの糧を、毎日お与えください。

私たちの罪をお赦しください。

私たちも私たちに負いめのある者をみな赦します。

私たちを試みにあわせないでください。」ルカ11:2-4

朝一番に深呼吸をするように、主の御心が今日一日、この世界に成されるようにとの祈りで始めています。先日の書道教室でも「祈」の一字を祈りを込めて書きました。



6月末には、日本語学校の生徒たちと動物園を散歩し（写真上）、普段はオンラインで授業を受けている生徒たちも一同に集まり交わりを楽しみました。サッカー教室も前期の終了式を行い（写真下）、子どもの親御さんともバーベキューの会食で交わりを深めました。教会の門戸が大きく開き、一人ひとりが神さまに近づけられていることを覚えることができ、主のみわざを崇めています。引き続き、ブラジル宣教の祝福をお祈りください。



## 近況と祈りのお願い

- 日本語学校、サッカー教室の子どもたちとその家族が教会につながり、「神の家族」とされるように。
- ヴァルゼンボニータに住む日系約40家族の祝福と救い。脳梗塞で倒れたNさんの回復と救いのために。
- 教会が祈りと御霊の一致でさらに前進できるように。
- 主任牧師の安井先生夫妻の健康と牧会の守り。
- 受験生の次男湧希の学びと進路のため。

## 2024年4-6月 献金のご報告と感謝

	(4-6月分)	(1-6月分)
指定献金:	490,550 円	(累計: 938,830 円)
現地支援:	260,650 円	(累計: 522,600 円)
<b>合計:</b>	<b>751,200 円</b>	<b>(累計: 1,462,430円)</b>

2024年も半年が過ぎましたが、これまでの皆さまの尊いご献金とお祈りを感謝申し上げます。引き続き、必要が満たされ、主の働きを全うできるようにお祈りください。日本の皆さまのお働きと生活が主にあって豊かに祝福されることをもお祈りいたします。

## 2024年 献金目標額：410万円

(「浜田宣教師指定」300万円+現地支援110万円)

日本同盟基督教団 ブラジル宣教師 浜田献・陽子／真理生・湧希・聖也・翔

住所：CEP 71705-024 Av.Contorno, Bloco 1125, casa 11, N.B. -DF BRASIL

E-mail: kenyokomario@yahoo.co.jp

献金先：郵便振替 00120-5-142886 日本同盟基督教団事務所（「浜田宣教師指定」とご明記下さい）